

研究課題名 消化器がん検診の精度向上に関する研究

本研究は、ちば県民保健予防財団疫学・臨床倫理審査委員会の承認を得て、当財団で実施している、胃レントゲン検査、胃内視鏡検査（二次読影を含む）、便潜血検査、大腸内視鏡検査、大腸CT検査、腹部超音波検査を2018年度から2020年度に受診する予定の、のべ約90万人を対象に、当財団で実施している消化器がん検診の現状を把握し、今後の精度向上への方策を検討することを目的として実施します。研究期間は2018年4月～2023年3月の予定です。

この研究により、各検診の有効性の有無が明らかになることで、有効な検診はより強力に住民検診であれば住民に、職域検診であれば職員に受診勧奨を実行する根拠となります。有効性が無いことが明らかになれば、行政の行う検診からは外し、任意型検診としてのみ行い、限りある市町村財源の有効活用につながるすることができます。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

1. 本研究はデータのみを収集する疫学研究であり、本研究のために新たに人体試料の採取は行いません。
2. 受診者の皆さまの個人情報を削除した上でデータの分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者及び分担研究者は、本研究に関する利益相反はありません。

本研究にご自身のデータが利用されることについてご同意いただけない場合やお問い合わせ等につきましては、調査研究部までご連絡ください。

研究責任者

診療部診療科部長 山口和也